

海自在籍部隊が一丸となり大湊ネブタに参加



大湊地方隊(総監:武居 智久海将)を始めとする海自大湊在籍部隊は、8月6日から8日の3日間、「平成22年度大湊ネブタ」に参加しました。

大湊ネブタは明治20年の初運行以来125年を迎え、海上自衛隊の参加は46回目になります。

海自大湊在籍部隊は、本年4月から大湊造修補給所が中心となり昼夜を問わずネブタ(作品名:風神雷神)の制作にあたり、ネブタ制作部門において第3位を受賞しました。また、7月からは選出された隊員たちが太鼓、笛を始めとする囃子と6種類に及び踊りの練習に取り組んできました。

初日の6日は、主に各官舎において輪踊りを行い、7日と8日の合同運行には、むつ市内の11町内会等と共に流し踊りを実施しました。3日間とも例年にはない真夏日でしたが、幕僚長 道満 誠一海将補を先頭に踊りと囃子は練習の成果を存分に発揮し、詰め掛けた多くの観衆から大好評を得ました。

海自大湊在籍部隊と地域社会との融和を一層深めた有意義な3日間でした。

新砕氷艦「しらせ」の稚内寄港を熱烈歓迎



海上自衛隊稚内基地分遣隊(隊長:清水信勝2等海佐)は、9月3日(金)から6日(月)までの間、新砕氷艦「しらせ」の稚内寄港を支援しました。

稚内は第1次南極観測隊に参加した樺太犬(からふとけん)の訓練地で、南極観測にかかわりの深い土地柄であり、今年、白瀬 轟(しらせのぶ)中尉が初めて南極を探検してから100周年に当たることから「南極探検100周年メモリアル事業」として稚内市が「しらせ」の寄港を要請したものです。

入港時はあいにくの雲り空でしたが、稚内副市長を始めとする稚内市民の熱烈な歓迎の中、その雄姿を末広ふ頭に接岸しました。入港期間中、艦上懇談、艦艇公開、大湊音楽隊による音楽演奏、史跡研修、市主催による北防波堤ドームでの歓迎会などが行われました。

4日間の寄港を終えた「しらせ」は稚内市長を始めとする関係者の温かい見送りの中、静かに稚内を後にしました。

第5次隊「護衛艦ゆうぎり」大湊に寄港



大湊地方隊(総監:武居 智久海将)では10月17日、爽やかな秋晴れの中、ソマリア沖・アデン湾第5次海賊対処行動水上部隊「護衛艦ゆうぎり」の入港出迎えを実施した。

「護衛艦ゆうぎり」は、平成22年5月8日に定係港である大湊を出港、9月中旬に第6次隊に任務を引き継ぎ、大湊に帰港した。

当日は朝早くから入港する岸壁に乗員家族が集まり、まだ遠くに小さく見える「護衛艦ゆうぎり」に「お父さん！」と何度も呼びかける子供の声が印象的であった。

入港後、大湊音楽隊の演奏に合わせて舷梯を降りて整列した隊員を代表し、ゆうぎり艦長(鈴木 亨2佐)が「現地において任務を遂行できましたのも、日本で応援していただいたご家族の支えと国内外から寄せられる多くのご支援、ご協力があったからこそだと確信しています。」とあいさつした。

平成22年度自衛隊記念日行事



大湊地方隊は、秋も深まった平成22年10月20日(水)、大湊基地内にある慰霊碑前で平成22年度殉職隊員追悼式を実施した。追悼式は大湊地方隊任免権下において職務執行中の不慮の事故などで殉職された七十御柱を追悼するもので、毎年自衛隊記念日行事として実施している。本年度は慰霊碑周辺的环境整備が完了し、追悼式当日は殉職隊員遺族九家族十名、むつ市自衛隊協力団体など来賓11名及び隊員約200名が参加した。



10月30日(土)には、平成22年度自衛隊記念日行事(記念式典、祝賀会)を中野渡詔子衆議院議員、平山孝司参議院議員、三村申吾青森県知事、宮下順一郎むつ市長をはじめ、多数の来賓を迎え挙行了。総監は永年勤続者に対し、「諸君の永年にわたる海上防衛に対する貢献に対して、海上自衛隊を代表し改めて敬意を表する。今後ともそれぞれの配置において存分に実力を発揮するとともに研鑽努力を重ねてもらいたい。」と訓示した。

海曹会からメリークリスマス



大湊海曹会(会長 25空 前任伍長 宮崎保広曹長)は、平成22年11月27日(土)、大湊基地レクリエーションセンターにおいて隊員家族に対するクリスマスコンサートを実施した。これは日夜仕事に励んでいる隊員とその隊員を支えて下さっているご家族及びOBの皆様を慰労するため、毎年この時期に実施しているもので、本年は現在海賊対処のためソマリア沖・アデン湾に派遣中の護衛艦「せとぎり」及び「まきなみ」の乗員家族を含め423名が参加した。

サンタクロースに扮した女性隊員の進行で第1部は、海友会軽音楽部『フェアセーリング』がアップテンポな曲「タマシイレボリューション」や「宙船(そらふね)」などを演奏した。

第2部は、総監をはじめとする大湊在籍部隊指揮官により結成された『コマンドーズ』が「歓喜の歌」及び「ホワイトクリスマス」を合唱。続いて大湊音楽隊がマイケルジャクソンや歌謡曲のメドレーなどを演奏した。せとぎり乗員の家族から「現在、夫が不在で色々苦労はありますが、今回のコンサートに参加し大変勇気付けられました。ありがとうございました。」との言葉を頂いた。

平成22年度 健康献立コンテスト



大湊地方隊(総監・武居智久海将)では12月20日「栄養バランスの取れた健康献立作成能力の啓蒙及び調理技能の向上」及び「部隊等における給食の質的向上及び生活習慣予防に資する」ことを目的とした健康献立コンテストを開催した。

本コンテストには、隷下部隊である大湊基地業務隊、大湊弾薬整備補給所及び多用途支援艦「すおう」のほか、大湊所在の護衛艦「ゆうぎり」、第25航空隊及び自衛隊大湊病院から合計6部隊が参加した。

コンテスト内容は献立審査(事前審査)と実食審査(当日)であり、献立審査は、参加部隊が事前に提出した3日分の献立を大湊造修補給所の管理栄養士が「使用基準量、食育、普及性等」の観点から採点を実施し、また、実食審査は、コンテスト当日に大湊地方総監ほか参加部隊の長及び給養員長により、「健康への配慮度、味付け、外観、使用食材の適否等」の観点から採点を行った。本コンテストは単に味の良し悪しを競う料理コンテストと異なり、参加部隊は隊員の健康に配慮した1日の基準量や集団給食への適否などに関する知識・技能を十分に発揮しコンテストに臨んでいた。

献立審査及び実食審査の結果、最優秀部隊は第25航空隊、優秀賞は大湊基地業務隊であった。

本コンテストを通じ、隊員の生活習慣病予防に不可欠な給養員の健康献立の作成技術及び食育に関する知識の向上を図ることができた。給食は士気の根源であることから、美味しさを追求しつつ、かつ適正な栄養バランスの優れた給食ができるよう、各給食実施機関への栄養指導等を引き続き実施する所存である。